

Contents

- 特集 誰もが住みやすく
誰にもやさしい地域とは…②
- 住民福祉会リポート…④
- 地域福祉講演会の開催報告 ほか…⑤
- 平成30年度収支報告…⑥
- 善意の寄付に感謝を込めて、
インフォメーション…⑦
- 活動レポート 地域でキラリ！…⑧

社協だより じょうえつ



めぐりんがくの一言！

ふだんの
くらしを
しあわせに



上越市社協マスコット
キャラクター「めぐりん」

ドイツ・パラリンピック柔道選手と直江津南小学校の児童との交流会の様子です。上越市は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでドイツ選手のホストタウンとなっています。オリンピックを機に「誰もが住みやすく・誰にもやさしい地域」を考えてみましょう。

特集

誰もが住みやすく
誰にもやさしい
地域とは

2020年に、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。私たちの住む上越市はドイツ選手のホストタウンとなっています。オリエンピックをきっかけに海外から多くの方が上越市を訪れることが予想されます。

年齢・性別・障がいの有無・国籍などの違いに関わらず、多くの人が使いやすいように物・建物・空間を「デザインする考え方」をユニバーサルデザインといいます。このユニバーサルデザインについて知り、「誰もが住みやすく・誰に もやさしい地域」とはどんな地域であるかを考えることが、オリンピック・パラリンピックができる私たちの「おもてなし」にも繋がるのでないでしょうか。

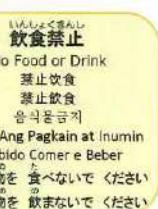
【ユニバーサルデザインの7原則】

- ①誰でも利用できること
- ②いろいろな方法を自由に選べること
- ③使い方が簡単ですぐに分かること
- ④必要な情報がすぐに理解できること
- ⑤うつかりミスや危険に繋がらないデザインであること
- ⑥無理な姿勢をとることなく、弱い力でも楽に使用できること
- ⑦使いやすいサイズ・広さになっていること

【身近にあるユニバーサルデザイン】

●多言語表示

多くの方に情報が正しく伝わるようにに様々な言語やマークを使って表記しています。



【心のユニバーサルデザイン】

ユニバーサルデザインに基づいて作られた物・建物・空間があれば、それだけで「誰もが住みやすい・誰にもやさしい地域」になるというわけではありません。

例えば、駐車場に障がいのある方や高齢者、妊娠婦等の専用駐車スペースが設置されても、一般の方が駐車してしまいます。物・建物・空間だけ利用できなくなってしまいます。物・建物・空間だけが整っていればいいという事ではなく、相手を思いやる心や配慮があつてこそ、設備も活きてきます。

一人ひとりが、様々な人の立場に立つて、思いやり・譲り合う・助け合うことが、『心のユニバーサルデザイン』です。そうすることできたり、足りない部分を補つたりすることができます。まずは、自分の身の周りのことに关心を持ち、様々な立場の人を思いやり、自分にできる」とから始めましょう。

みんなで『心のユニバーサルデザイン』の輪を広げ、「誰もが住みやすく・誰にもやさしい地域」にしていきましょう。

紹介した以外にもユニバーサルデザインはあります。意識的に物や建物・空間を見てみると、身近に隠れていたユニバーサルデザインの発見があります。



●昇降施設

階段・エスカレーター・エレベーターが同じ場所にあり、利用自由に選択できるようになっています。



●牛乳パック

牛乳パックには切り欠きがありますが、他の飲料には切り欠きはありません。触れて区別ができ、パックの反対側に開け口があることが分かるようになっています。

2020年に、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。私たちの住む上越市はドイツ選手のホストタウンとなっています。オリエンピックをきっかけに海外から多くの方が上越市を訪れることが予想されます。

年齢・性別・障がいの有無・国籍などの違いに関わらず、多くの人が使いやすいように物・建物・空間を「デザインする考え方」をユニバーサルデザインといいます。このユニバーサルデザインについて知り、「誰もが住みやすく・誰に もやさしい地域」とはどんな地域であるかを考えることが、オリンピック・パラリンピックができる私たちの「おもてなし」にも繋がるのでないでしょうか。

社協の取組

上越市社協では、「誰もが住みやすく・誰にもやさしい地域」を育むために目指すべき「人物像」を掲げ、地域・学校・企業等とともに、「福祉教育」を進めています。



福祉教育の事例紹介

違いを認め・思いやり・行動する
～ユニバーサルデザイン講話と
視覚障がい・ガイドヘルプ体験～

直江津南小学校6年生

ドイツ・パラリンピック柔道チームの選手との交流会では、「ユニバーサルデザイン講話」と、視覚に障がいのある選手も大会に出場することから「視覚障がい・ガイドヘルプ体験」を実施しました。

ユニバーサルデザイン講話は、上越市共生まちづくり課職員が講師となり、クイズを出題したりしながらユニバーサルデザインについて学びました。

また、「視覚障がい・ガイドヘルプ体験」では、社協職員が講師となり、当事者の心身状態の理解や誘導時の配慮等を学び、相手に合わせた対応とは何かを考え、行動する事ができました。

今回、共生まちづくり課と協力することで、得意分野を活かし、学びを深めることができました。



【社協ができる】こと

目的や相談内容に合わせ「プログラムの企画」、「職員の派遣」、「資材の貸出」、「活動先や訪問先の調整」などのサポートを行います。福祉の学習に関心のある方は、お気軽に社協の本所または支所へご相談下さい。



富寿しづグループ

認知症の方やその家族も安心して食事を楽しんでいただきたいという願いから、社員研修で「認知症サポート－養成講座」を実施しました。お店に置いてあるロバ隊長やステッカーは、認知症サポートーのいるお店の証です。

認知症になつても安心して暮らせる地域のために

～認知症サポート－養成講座～

- ①体に障がいのある人が運転する車に付いています。
- ②年配の方が運転する車についています。
- ③四つ葉のクローバーが多いところの目印です。

クイズ1



このマークの説明
正しいのは
どれかな？

住民福祉会リポート

モデル地区で2年間取り組んだ
効果や課題を伺いました

平成29～30年の2年間、住民福祉会の取組を進めたモデル地区（諏訪区、中郷区、名立区）に取組の効果や課題などを聞かせていただきました。

3地区とも、上越市社協の取組に対する支援体制は「十分だった。」と回答をいただいています。

諏訪区 住民福祉会

効果

- 1年目に全世帯を対象に実施した「福祉意識アンケート調査」の結果から、2年目の「買物送迎支援サービス」の実施につながりました。
- 既存の住民組織（諏訪の里づくり協議会）を母体として取り組めたため、地域の様々な組織から必要な支援を得ることができました。

課題

- 今後、地域のニーズなどにより新たな事業を実施することになった場合、財源の確保が必要です。

1年目

2年目

アンケート



買物ツアー実施へ

中郷区 住民福祉会

効果



会合などで要望の声が…

- 高齢者に対する取組ばかりではなく、子どもや親世代も含めた様々な取組をスタッフも楽しみながら進めることができました。
- 住民福祉会の取組が認知され、様々な機会に多くの方から要望などを聞くことができるようになり、皆さんのが声を活かした事業を実施することができました。

課題

- 地域が必要としている事業を継続的に実施していくためには、新たな人材や財源の確保が重要となります。



親子で参加する事業も実施

名立区 住民福祉会

効果

- 9つの福祉団体で構成されていることで、多様な福祉課題などを把握できるようになりました、外出支援などの新しい事業につながりました。
- 市や社協の事業見直しなどで継続が難しくなった事業を住民福祉会が受け皿となって実施できたことで、これまでの福祉活動を継続することができました。



後継者や財源の確保が課題

課題

- 自主財源なく運営していることから、公的財源等が交付されなくなった場合の対応策が喫緊の課題です。
- 構成団体メンバーの高齢化、後継者確保の問題が、組織体制に影響を及ぼすことが懸念されます。



継続して実施することができた「高齢者ふれあい交流会」

「住民福祉会」に取り組んでいる地区と事業

平成30年度

三和区 住民福祉会

- 要支援者等に対する外出支援事業
- 防犯教育事業
- 高齢者への見守り事業
- 買物クラブ
- 防災教育事業
- 福祉意識の普及啓発を図る事業

NEW!

新道区 住民福祉会

- 高齢者アンケート調査
- お試しお買い物ツアー
- おひとり様のためのお楽しみ交流会
- 福祉相談所開設
- 福祉を学ぶ集い

令和元年度

有田区 住民福祉会

- 福祉学習会
- 福祉広報事業
- 認知症サポーター養成講座
- 子育てサロン

和田区 住民福祉会

- 見守り学習会・意識アンケート調査
- 広報発行
- 買物送迎支援

吉川区 住民福祉会

- 地域住民に対する福祉教育事業
- 調査研究事業
- 交流事業
- 広報活動
- 活動支援

※「住民福祉会」とは…

住民が自ら地域の福祉（生活）課題等について考え、その解決に向けて自主的に福祉活動を実践する活動組織です。全国的にも「地区社協」、「校区福祉会」等の名称で設置されています。（上越市では「住民福祉会」という名称で上越市社協が地域に働きかけ、取組を進めています。）

名称：身体障害者標識（身体障害者マーク）

解説：肢体不自由であることを理由に普通自動車運転免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです。危険防止のやむ得ない場合を除き、幅寄せや割り込みはやめましょう。

上越市社会福祉協議会
令和元年7月1日発行

社協だより 4

地域福祉講演会を開催しました。

5月11日(土)にリージョンプラザ上越で、上越市と上越市社会福祉協議会の共同主催による「地域福祉講演会」を開催し、約330人の参加者が地域福祉のあり方などについて学びました。

第一部

「上越市地域福祉計画」と「上越市地域福祉活動計画」の説明 講演会「できることから始める地域における支え合い」

講師：新潟医療福祉大学 社会福祉学部 青木 茂 准教授

講演会では、地域が抱える「孤立」や団塊の世代が75歳以上になる2025年問題から国の施策について解説していただき、これまで以上に求められる地域での「支え合い」「助け合い」を進めていくためには、地域で起こる問題を他人事としてとらえるのではなく我が事としてとらえ、他者へ関心を振り向け、一人ひとりが「自分たちの地域は自分たちで守る。」という主体的な思いを持つことが大切であると教えていただきました。



第二部

地域における取組事例発表・事例を基にしたディスカッション

発表者：中郷区住民福祉会 竹内靖彦 会長・村本亜紀子 生活支援コーディネーター

コーディネーター：新潟青陵大学 福祉心理学部 李在穎(イ・ジェオク) 准教授



中郷区住民福祉会の取組事例発表では、子どもが積極的に参画する活動や子どもと親が向き合う機会にもなる親子参加の「親子ハッピーカフェ」など、高齢者に対する取組ばかりではない様々な事例が紹介されました。

竹内会長は、やらされ感にとらわれるのではなく、とにかくやってみること、自分たちも楽しみながら取組みを進めることが重要であると話されていました。

発表を受けてコメントーターの青木准教授は、「声」をキーワードと捉え、「想っていることを声に出すことが地域福祉活動の推進につながっていく」と感想を述べられました。

コーディネーターの李准教授は、「活動には財源が必要。財政面の支援も重要なとなる。地域福祉活動計画は福祉ニーズを持つ方だけでなく全ての市民が対象。生活を豊かにする指標として、この計画を推進していくことが地域福祉の充実につながる。」とまとめられました。

事例研究会を開催しました。

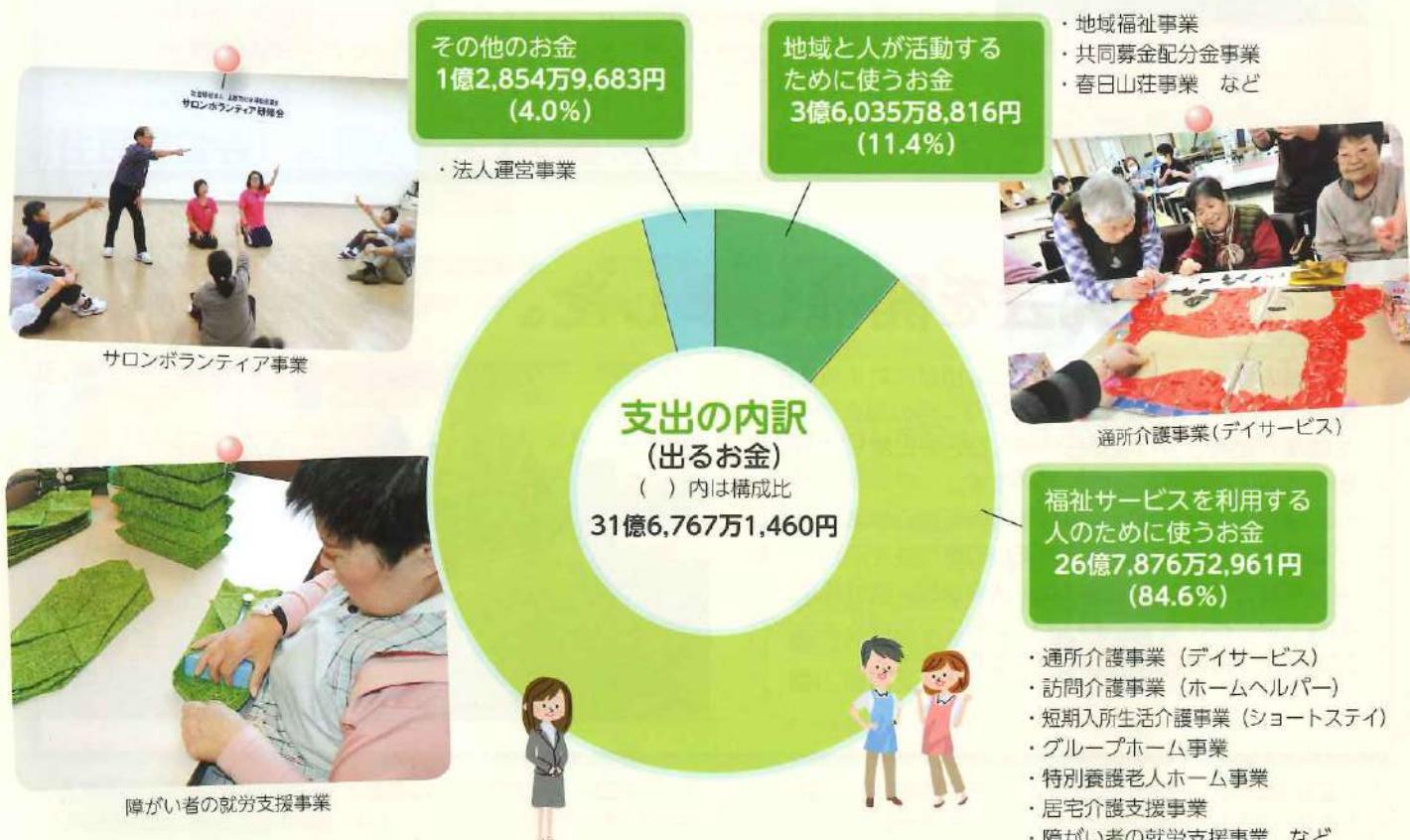
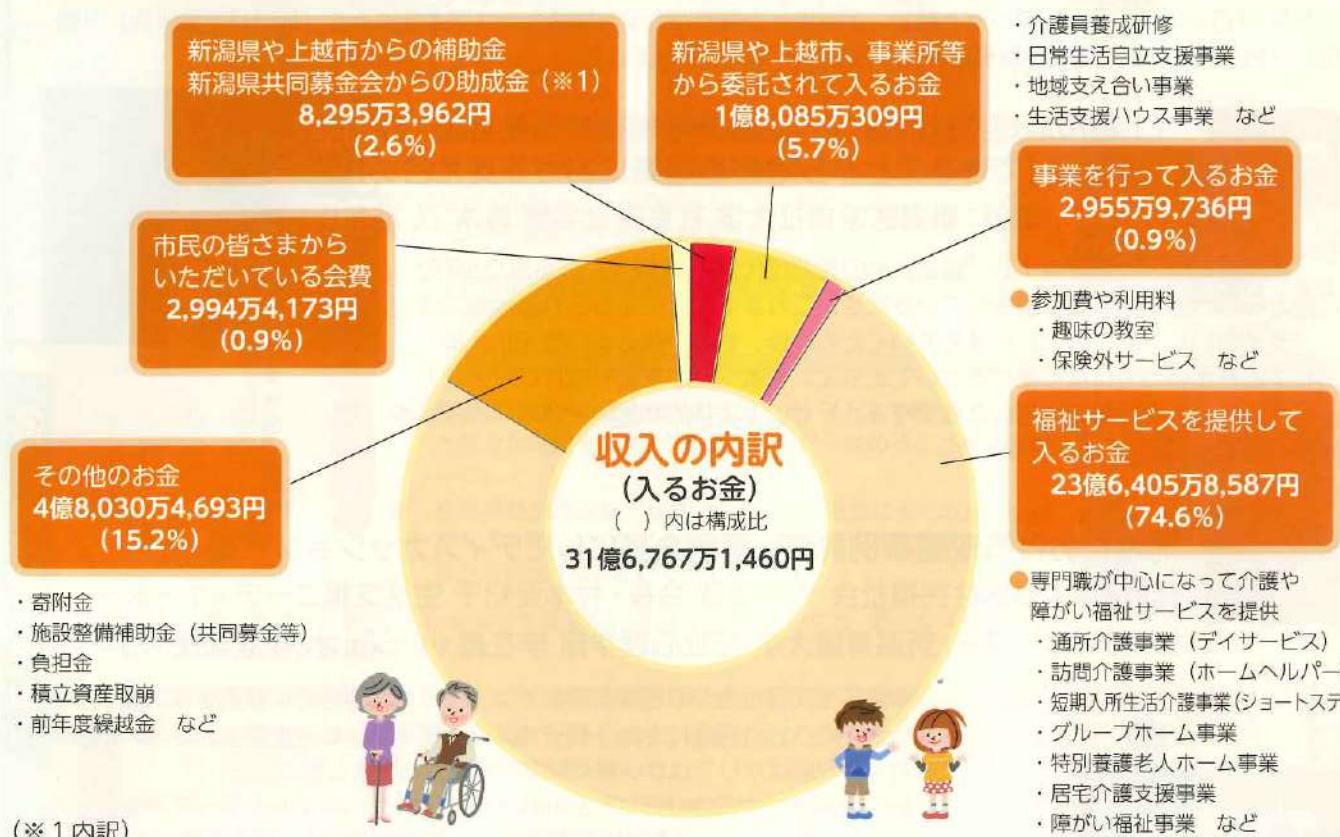
地域の皆様から寄せられる多様な相談に対する支援の整備は、今後一層必要とされています。当協議会でも様々な職種が連携を図りながら、一人ひとりに寄り添った支援の充実に向けて取り組んでいます。

介護保険、地域福祉、障害者相談支援の事業所の職員が集まり、事例に対してそれぞれの専門性を活かし、意見交換を行いました。様々な生活の課題に向け柔軟に対応していくとともに、よりよい支援につながるよう部門間の連携や協働に向けた取組を進めています。



上越市社会福祉協議会 平成30年度収支報告

「共に生き 共につくる 福祉社会を目指して」



名称:聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)

解説:聴覚に障害がある(※)ことを理由に自動車運転免許(準中型免許又は普通免許)に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです。危険防止のやむを得ない場合を除き、幅寄せや割り込みはやめましょう。
※補聴器を使用しても10メートルの距離で90デシベルの警音器の音が聞こえない方

上越市社会福祉協議会
令和元年7月1日発行

社協だより 6

善意の寄付に感謝を込めて…

平成31年4月1日から
令和元年5月31日まで

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆さまからのご淨財を社会福祉に使用させていただきます。

大変ありがとうございました。(寄付金額1万円未満はご芳名のみ掲載。順不同・敬称略)



社会福祉事業のために

●本所

宗教法人正輪寺 174,718円
株式会社ユアテック上越営業所
支援資金
上越教育大学附属図書館ミニ古本市有志 支援資金
信越化学労働組合 30,000円

●安塚支所

八木勇二 支援資金

やすづか学園

秋山玉江、秋山正道、豊岡明子
八木勇二、長谷川直樹、専敬寺
渋谷岩雄、小出つる、池田勝良
富永良司、山崎高美
株式会社有沢製作所、太田正則
高橋志郎、藤原芳男、白倉敏一

●柿崎支所

No Colors 支援資金

上下浜商業会

中島邦雄 100,000円

●名立支所

名立南部仏教協会 20,000円

物 品

●本 所

匿名 紙パンツ、肌着ほか多数
国際ロータリー第2560地区高田東ロータリークラブ
信越化学労働組合 車椅子15台
佐藤トミ、シズ子 タオル204枚

●浦川原支所

匿名 コシヒカリ玄米60kg

●大島支所

匿名 コシヒカリ玄米300kg

●牧支所

やまゆりの家 難波三夫 オムツ2袋、尿取りパット11袋

●大潟支所

やすらぎの家 衣類、下着、くつ下多数

藤繩留治 割烹旅館三景 タオル500枚

タキヤ理容所南雲義美 業務用洗剤2箱

●頸城支所

吉和会 タオル60枚

下吉吉寿会 タオル50枚

二葉会 タオル39枚

無憂の里

称念寺(下増田) タオルケット・ボアシート多数

●吉川支所

いこいの里あさひ 六万部老人会「六寿会」 タオル39枚

●名立支所

椿寿苑 塚田正 紙オムツ3袋、尿取りパット8袋

使用済切手

大和ハウス工業(株)、米山寺郵便局、(一財)きたしろ相続相談センター、エフビー介護サービス(株)、四寿会、吉和会、福寿会、高助合名会社、小倉秀子、(有)富村左官工業、名長会、上田税務会計事務所、(一財)上越環境科学センター、上越八幡郵便局、上越教育大学附属図書館ミニ古本市有志、竹内悦子、コネクテックジャパン(株)、第7地区民生委員児童委員協議会、市川美佐子、アコレ内郵便局(株)サポートワン、(有)渡辺工務店、(株)大島組、保倉地区民生委員・児童委員山岸功、第9地区民生委員児童委員、三郷郵便局、公益財團法人上越勤労者福祉サービスセンター、吉川郵便局、匿名

情報 (お知らせ) Jouetushisyakyo Information

障害者グループホーム 柿崎ふれんどり～ホームうらはま 開所しました!

4月1日柿崎区内にグループホームを開設し、同20日に開所式を開催しました。男性5名の入居者は、話し合いにより生活ルールを決め、お互いを思いやりながら、共同生活をスタートしています。開設にあたり、多くの皆様からのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。入居者の地域生活の場として、地域の皆様との信頼関係と親睦を築いていけたらと考えています。



開所式後は赤飯でお祝い

福祉講演会開催

元気に笑って、健康寿命を延ばしましょう。

●日 時：

8月25日(日)

開場 午後1時

開演 午後1時30分

●場 所：

ユートピアくびき希望館

多目的ホール

●講 師：毒蝮三太夫



●内 容：まむし流元気で

長生きするコツ、させるコツ

●入場料：無料

●問合先：上越市社会福祉協議会 頸城支所

☎ 025-530-4361



①耳の不自由な人が、自分の耳が不自由であることを教えるために身に付けます。

②目の不自由な人を表すマークです。

③曲がりくねっている道の標識です。



活動レポート 地域で キラリ!



高橋伸様

今回は、大島区で読みきかせボランティア活動をされている高橋伸さんをご紹介します。

小学校教員を退職されてから、幼児や児童を対象に絵本や紙芝居などの読みきかせを17年間続けられています。

現在、大島小学校では毎週金曜日の朝、1年生を対象に実施しています。毎年1年生が楽しみにしている時間です。1回に2冊程度季節や児童の活動に合わせたお話を選び、年間50冊以上のお話が披露されます。十数年前からは、他学年からも要望があり、以前実施していた「おはなし広場」のメンバー5人で、月1回各学年でも読みきかせをするようになりました。「素直に感動する児童の姿や出会った時に元気に声をかけてもらいたいパワーをもらっています。」「子ども達には本と友達になってもらえるように、そして、友達と仲良くやさしい心が育つってくれたら嬉しいです。」と想いを語っていました。



自分が好きな活動だから続けられるんです。」
「大島区は自然がきれいで人が温かい地域。気軽に話しができ、教え合うことができるところが良いところ。お花が好きでウォーキング途中で花を眺めたり、畑仕事をしている人の立ち話も楽しいのよ。」と笑顔で教えていただきました。

高橋さんの日々の活動により、世代をとわざ人と人との繋がりが広がっています。これからも健康でいて、ボランティア活動を続けていきたいとのことです。

手遊びをしています。また、地域のサロンでパネルシアターを披露したり多くのボランティア活動をされています。手作りのパネルシアターは、語りや台詞、歌や動きもあります。「喜んでいただけだと嬉しいです。」「喜んでいただけだと嬉しいです。」

熱中症予防のためのまめ知識 家庭で作れるイオン水 こまめな水分補給が体を守ります。

材料

- ・白湯 500 mL
- ・塩 1g
- ・砂糖 20g
- ・レモン汁 小さじ 1/4

つくり方

- ①白湯に、塩と砂糖を入れ溶かす
 - ②最後にレモン汁を加える
- ※みかん、オレンジ、グレープフルーツなどの柑橘系果汁も美味しく、さわやかです。



【ご注意】主治医からの指示がある方は、指示をお守りください。

皆さまからのご意見をお待ちしています。また、福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしています。

【連絡先】上越市社会福祉協議会 総務課 ☎ 025-526-1515・FAX 025-526-1230
Eメール jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp



社会福祉協議会HPへ



名称：耳マーク

解説：聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。「聞こえない・聞こえにくい」とを理解し、コミュニケーションの方法等への配慮があると、安心して生活ができます。

上越市社会福祉協議会
令和元年7月1日発行

社協だより 8